九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

九州大学百年史 第3巻 : 通史編 III

九州大学百年史編集委員会

https://doi.org/10.15017/1801800

出版情報：九州大学百年史. 3, 2017-03-31. 九州大学
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

九州大学百年史　第３巻　通史編Ⅲ　目次

序

凡例

第 12 編　学府・研究院制度の発足

第１章　大学院重点化の開始……3

第１節　大学院重点化の開始……3

（1）大学設置基準の大綱化……3

臨教審答申　　大学設置基準の大綱化

（2）大学院重点化の開始……8

大学審議会答申　　大学院重点化の開始

第２節　九州大学の改革構想……11

（1）「九州大学の改革の大綱案」……11

九州大学の大学院重点化方針　　「九州大学における大学改革の基本構想（案）」　　大学改革専門委員会　　「九州大学の改革の大綱案」

（2）全学教育の改革と総合選択履修方式……21

（3）教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト……24

第２章　九州大学の大学院重点化……28

第１節　システム情報科学研究科・人間環境学研究科の設置……28

（1）学際研究の拡大……28

（2）システム情報科学研究科の設置……32

（3）人間環境学研究科の設置……36

第２節　文科系学部の大学院重点化……42

（1）文学部の大学院重点化……42

(2) 法学部の大学院重点化 ……44
(3) 経済学部の大学院重点化 ……46
第 3 節　理工系学部の大学院重点化 ……48
(1) 理学部の大学院重点化 ……48
(2) 工学部の大学院重点化 ……52
(3) 農学部の大学院重点化 ……60
第 4 節　医学系学部の大学院重点化 ……64
(1) 医学部の大学院重点化 ……64
(2) 薬学部の大学院重点化 ……67
(3) 歯学部の大学院重点化 ……69
第 3 章　学府・研究院制度の発足と
教育・研究組織の再編 ……71
第 1 節　学府・研究院制度の発足 ……71
(1) 教育と研究の分離 ……71
(2) 学校教育法の改正と学府・研究院制度の発足 ……75
学校教育法の改正　　学府・研究院制度の発足　　教育憲章・学術憲章の制定
(3) システム生命科学府の設置 ……81
第 2 節　文科系学府・研究院・学部 ……85
(1) 人文科学府・人文科学研究院・文学部 ……85
(2) 比較社会文化学府・比較社会文化研究院 ……87
(3) 人間環境学府・人間環境学研究院・教育学部 ……88
(4) 法学府・法学研究院・法学部 ……89
(5) 経済学府・経済学研究院・経済学部 ……90
(6) 言語文化研究院 ……91
第 3 節　理工系学府・研究院・学部 ……94

（1）理学府・理学研究院・理学部 ……94
（2）数理学府・数理学研究院 ……95
（3）工学府・工学研究院・工学部 ……96
（4）システム情報科学府・システム情報科学研究院 ……98
（5）総合理工学府・総合理工学研究院 ……99
（6）生物資源環境科学府・農学研究院・農学部 ……102
第 4 節　医学系学府・研究院・学部 ……104
（1）医学系学府・医学研究院・医学部 ……104
（2）医療技術短期大学部の廃止と医学部保健学科の設置 ……107
（3）歯学府・歯学研究院・歯学部 ……111
（4）薬学府・薬学研究院・薬学部 ……112
第 4 章　研究所・学内共同教育研究施設等の
拡充と再編 ……114
第 1 節　附置研究所 ……114
（1）続・九州大学の改革の大綱案 ……114
（2）応用力学研究所の全国共同利用施設化 ……115
（3）学府・研究院制度と附置研究所 ……116
（4）先導物質化学研究所の設置 ……118
第 2 節　学内共同教育研究施設等 ……122
（1）学内共同教育研究施設の拡充 ……122
既存施設の見直し　生物環境調節センター　熱帯農学研究センター
石炭研究資料センター　先端科学技術共同研究センター　ベンチ
ャー・ビジネス・ラボラトリー　量子線照射分析実験施設　韓国
研究センター　アドミッションセンター　総合研究博物館　大
学文書館　システム LSI 研究センター　宙空環境研究センター
超伝導システム科学研究センター　医療系統合教育研究センター

(2) 機構・推進室等の設置 ……132
産学連携推進機構　国際交流推進機構　高等研究機構　全学教育機構　新キャンパス計画推進室　評価情報開発室　研究戦略企画室　社会連携推進室
第 5 章　入試制度の拡充と 21 世紀プログラム ……139
第 1 節　入試制度の拡充 ……139
(1) 社会人入試 ……139
(2) 学部編入学 ……140
(3) AO 入試 ……141
第 2 節　21 世紀プログラム ……144
(1) 「自由学際系」構想から 21 世紀プログラムへ ……144
「自由学際系」構想　「自由学部」構想の挫折　「21 世紀プログラム」への変更
(2) 21 世紀プログラムの開始 ……148
21 世紀プログラム入試　21 世紀プログラムの実施
第 6 章　管理・運営体制の改革 ……153
第 1 節　執行体制の強化 ……153
(1) 総長補佐制度・副学長制度 ……153
総長補佐制度　副学長制度　センター群協議会の設置　委員会の整理
(2) 運営諮問会議の設置 ……162
(3) 自己点検・評価と外部評価 ……164
第 2 節　学生部の廃止と事務組織の再編 ……166
(1) 学生部の廃止と事務局一元化 ……166
学生部の廃止と事務局一元化　教務事務の電算化　技術職員問題
(2) 事務組織の再編 ……170

第 7 章　バブル崩壊後の学生生活と学生支援 ……174
第 1 節　バブル崩壊後の学生生活 ……174
(1) 学生生活の変化 ……174
学生状況の把握　　各種行事の開催　　アルバイトの斡旋
(2) バブル崩壊後のサークル活動 ……177
サークル組織の変化　　体育系サークル　　文化系サークル　　サークルの多様性
(3) 福利厚生施設の変遷 ……188
第 2 節　就職氷河期の到来 ……190
(1) バブル崩壊と就職協定廃止 ……190
バブル崩壊後の就職問題　　就職協定の廃止　　公務員試験対策講座　　インターンシップ　　女子学生の就職対策
(2) 就職支援室の設置と近年の就職状況 ……194
就職支援室の設置　　リーマン・ショック後の就職状況
第 3 節　学生支援の強化 ……198
(1) 経済支援の強化 ……198
授業料の増加　　学費減免と奨学金　　寄宿舎問題　　給付型奨学金の設定
(2) 就職支援の強化 ……201
(3) 九州大学学生後援会の設立 ……203
学友会問題　　九州大学学生後援会の設立　　学友会保健部の廃止
(4) 東日本大震災と九州大学の対応 ……207

第 13 編　国立大学法人九州大学の発足
第 1 章　国立大学法人化への動き ……213
第 1 節　行財政改革と国立大学の法人化案 ……213

（1）行財政改革と独立行政法人化 ……213
行財政改革と国立大学　　独立行政法人案と国立大学
（2）独立行政法人化の見送り ……216
独立行政法人化への反対　　独立行政法人化の見送り　　国立試験研究機関の独立行政法人化
第 2 節　国立大学法人法の制定 ……220
（1）文部省の方針転換 ……220
独立行政法人化の圧力　　文部省の方針転換　　九州大学の対応　　独立行政法人化への検討の開始
（2）「構造改革」と「遠山プラン」 ……227
「構造改革」と国立大学　　「遠山プラン」
（3）国立大学法人法の制定 ……230
第 2 章　九州大学・九州芸術工科大学の統合 ……232
第 1 節　国立大学の再編統合 ……232
（1）九州大学・九州芸術工科大学の統合協議 ……232
統合の提案　　九州芸術工科大学の統合検討　　統合協議の開始　　統合協議会の設置
（2）九州大学・九州芸術工科大学の統合 ……243
第 2 節　九州大学・九州芸術工科大学の統合 ……244
（1）芸術工学府・芸術工学研究院・芸術工学部 ……244
芸術工学府・芸術工学研究院・芸術工学部の設置　　芸術工学府の拡充・改組　　キャンパスプランと組織改革
（2）感性融合創造センターの設置 ……247
（3）U.I.（University Identity）とロゴマーク ……249
（4）ユーザーサイエンス機構の設置 ……252
第 3 章　国立大学法人九州大学の発足 ……255

第１節　国立大学法人九州大学の発足 ……255
（1）国立大学法人化に向けた準備 ……255
法人化移行に関する検討ワーキンググループ　附置研究所･学内共同教育研究施設　教職員人事制度の見直し　法人化後の授業料等の検討
（2）国立大学法人九州大学の発足 ……261
国立大学法人九州大学の発足　4-2-4 アクションプラン
第２節　専門職大学院等の設置 ……265
（1）法務学府（法科大学院）の設置 ……265
司法制度改革と法科大学院　九州大学の法科大学院設置準備　法務学府の設置
（2）専門（職）大学院の設置 ……269
専門大学院　医学系学府医療経営･管理学専攻　経済学府産業マネジメント専攻　人間環境学府実践臨床心理学専攻　専門職大学院コンソーシアム
（3）統合新領域学府の設置 ……275
第３節　研究所・学内共同教育研究施設等の再編と設置 ……278
（1）カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所の設置 ……277
（2）マス・フォア・インダストリ研究所の設置 ……280
（3）附属研究所の再編と共同利用・共同研究拠点化 ……282
（4）学内共同教育研究施設の設置 ……284
水素利用技術研究センター・水素エネルギー国際研究センター　最先端有機光エレクトロニクス研究センター　未来化学創造センター　バイオアーキテクチャーセンター　大学文書館　鉄鋼リサーチセンター　デジタルメディシン・イニシアティブ　低温センター　加速器・ビーム応用科学センター　フロンティア研究センター

炭素資源国際教育研究センター　感性融合デザインセンター
(5) 主幹教授制度の創設と先導的学術研究拠点の設置 ……291
主幹教授制度の創設　伊藤プラズマ乱流研究センター　シンクロトロン光利用研究センター　先端融合医療創成センター　有体物管理センター　環境安全センター　分子システム科学センター　日本エジプト科学技術連携センター　応用知覚研究センター　プラズマナノ界面工学センター　先端医療イノベーションセンター　EU センター　免疫機構研究センター　環境発達医学研究センター　癌幹細胞研究センター　リスクサイエンス研究センター　ヌクレオチドプール研究センター　エピゲノムネットワーク研究センター　アジア保全生態学センター　ヒトプロテオーム研究センター　創薬育薬最先端研究基盤センター　バイオメカニクス研究センター　ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター　次世代燃料電池産学連携研究センター　合成システム生物学研究センター　国際知的財産法・国際私法センター　国際宇宙天気科学・教育センター　科学技術イノベーション政策教育研究センター
(6) 機構・本部・推進室等の設置 ……303
機構　本部　推進室等
第 4 節　中期目標・中期計画 ……307
(1) 第 1 期中期目標・中期計画の策定と実行 ……307
第 1 期中期目標・中期計画の策定　第 1 期中期目標・中期計画の実行
(2)「5 年目評価、10 年以内組織見直し」および QUEST-MAP ……311
(3) 第 2 期中期目標・中期計画の策定 ……313
第 5 節　COE と大学評価 ……317
(1) 21 世紀 COE プログラム・グローバル COE プログラム ……317

（2）大学教育改革における特に優れた取り組み（GP）……324
（3）大学評価……327
第 6 節　管理運営体制と財政……328
（1）総長選考会議の設置……328
（2）役員会・経営協議会・教育研究評議会……331
役員会・経営協議会・教育研究評議会等の設置　法人化後の組織改革
（3）「三位一体の改革」……334
（4）事務局の再編……337
法人化と事務局再編　法人化後の事務局再編と拡充
（5）法人化後の大学財政……341
第 4 章　社会状況の変化への対応……343
第 1 節　情報公開と個人情報保護……343
（1）情報公開制度の整備……343
情報公開法の制定　九州大学の情報公開制度準備　情報公開法の施行　公文書管理法の制定
（2）個人情報保護対策……348
第 2 節　ハラスメント対策と不祥事への対応……351
（1）ハラスメント対策……351
セクシャル・ハラスメント対策　ハラスメント相談室の設置　アカデミック・ハラスメント対策
（2）不祥事への対応……358
第 3 節　男女共同参画の推進……361
（1）男女共同参画推進室の設置……361
男女共同参画社会基本法の施行　男女共同参画推進室の設置　男女共同参画施策の推進

（2）女性研究者支援の実施 ……369
第 5 章　国際化の進展 ……371
第 1 節　九州大学の国際戦略 ……371
（1）アジア重視戦略 ……371
韓国研究センター　　アジア重視戦略
（2）国際交流推進機構の設置 ……375
国際交流推進機構　　アジア総合政策センター
（3）国際協力事業 ……377
第 2 節　学術交流の拡大 ……379
（1）交流協定の拡大 ……379
交流協定の締結　　学術交流の拡大
（2）アジア関係研究施設の設置 ……381
（3）国際研究交流プラザの設置 ……383
国際研究交流プラザ　　EU センター
第 3 節　学生交流の拡大 ……387
（1）海外オフィスの設置 ……387
留学生向けプログラム　　海外オフィスの設置　　国際法務室
（2）留学生の増加 ……391
（3）学生の海外留学 ……393
第 4 節　アジア学長会議 ……397
（1）大学サミット・イン九州 ……397
大学サミット・イン九州　　大学サミット・イン・九州の成果
（2）アジア学長会議 ……402
アジア学長会議の開催　　アジア学長会議の効果
第 6 章　情報サービスの拡大 ……406
第 1 節　情報サービスの拡大 ……406

（1）総合情報伝達システムの導入 ……406
学内ネットワーク構築の検討　　総合情報伝達システムの導入
（2）情報基盤センター・情報統括本部の設置 ……410
（3）全学共通 ID の導入 ……412
第 2 節　図書館の電子化 ……415
（1）図書目録の電子化 ……415
図書目録の電子化　　図書館の電子化　　電子図書館機能の強化
（2）図書館のサービス拡大 ……421
（3）学術情報リポジトリ ……424
第 3 節　情報処理教育の進展 ……425
（1）情報処理教育の必修化 ……425
情報処理教育の必修化　　e-Learning の開始　　情報教育の強化
（2）学生向け情報サービスの充実 ……431
第 7 章　社会連携の強化 ……434
第 1 節　産学連携の強化 ……434
（1）産学連携体制の整備 ……434
ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー　　ロバート・ファン／アント
レプレナーシップ・センター　　先端科学技術共同研究センター
産学連携機構九州の設立　　知的財産本部
（2）企業との連携協定締結 ……441
（3）受託研究・共同研究の拡大 ……444
（4）寄附講座・寄附研究部門等の設置 ……446
第 2 節　地域社会との連携 ……449
（1）社会連係事業の実施 ……449
社会連携推進委員会の設置　　公開講座　　社会連携事業の方針
高大連携　　大学間連携　　災害時の連携

(2) 自治体との連携協定締結 ……454
(3)『九大広報』の創刊と広報室の設置 ……456
『九大広報』の創刊　広報室の設置
(4) さまざまな大学への支援 ……458
(5) 九州大学後援会の設立 ……461

第 14 編　伊都キャンパスへの統合移転と病院地区の再開発
第 1 章　キャンパス移転への模索 ……467
第 1 節　キャンパス移転の背景 ……467
(1) キャンパスの分散 ……467
春日原移転の挫折　将来計画とキャンパス移転
(2) 箱崎キャンパスの騒音問題 ……470
騒音問題　現地建て替え
第 2 節　キャンパス移転の決定 ……472
(1) 元岡・桑原地区への移転の決定 ……472
移転検討の具体化　香椎沖埋立地への移転計画　宗像地区・元岡地区への移転検討　新キャンパス構想委員会の設置　福岡市の誘致積極化　元岡移転の決定　移転用地の先行取得　元岡地区の優位性　移転調査経費の承認
(2)「改革の大綱案」と新キャンパス構想 ……483
第 2 章　キャンパス造成の開始 ……487
第 1 節　「造成基本計画」の策定 ……487
(1) 新キャンパス計画推進室の設置 ……487
新キャンパス計画推進室の設置　用地取得の開始
(2)「造成基本計画」の策定 ……489

基礎的調査の実施　新キャンパス基本構想　環境・文化財問題
「造成基本計画」の策定
第 2 節　マスタープランの策定 ……498
(1) マスタープランの策定 ……498
コンサルタントの選定　マスタープラン作成の開始　造成基本設
計案の作成
(2)「新キャンパス・マスタープラン 2001」 ……505
マスタープランの策定　「新キャンパス・マスタープラン 2001」
(3) 各地区基本設計の策定 ……509
第 3 節　キャンパス造成の開始と環境・文化財の保全問題 ‥512
(1) キャンパス造成の開始 ……512
(2) 環境保全対策 ……514
環境影響評価の実施　環境保全対策の実施
(3) 文化財の発掘と保全問題 ……517
埋蔵文化財の取扱い方針　発掘と保全の状況
第 3 章　統合移転の開始 ……524
第 1 節　工学部等の移転 ……524
(1) 工学系地区の建設工事 ……524
工学系地区建設工事の開始　PFI 事業の実施　「パブリック・ス
ペース・デザインマニュアル」の策定　移転スケジュールの変更
(2) 工学部等の移転 ……530
「伊都キャンパス」の命名と移転開始　伊都キャンパスの誕生イベ
ントの開催　伊都キャンパス誕生記念式典　実験施設等の設置
景観整備
第 2 節　六本松地区の移転 ……538
(1) 六本松地区の移転計画 ……538

キャンパス跡地の利用方針　裁判所等の移転計画と防災公園街区整備事業　跡地利用計画の策定
(2) 六本松地区の閉鎖と田島寮の閉寮 ……543
六本松地区の狭隘化　田島寮の閉寮　六本松キャンパス閉校式
(3) センターゾーンのオープン ……546
六本松地区の移転決定　センターゾーンの施設整備　センターゾーンのオープン
第 3 節　図書館・福利厚生施設の建設 ……551
(1) 理系図書館の建設 ……551
図書館移転計画の策定　理系図書館の開館　附属図書館移転スケジュールの策定　嚶鳴天空広場の設置
(2) 福利厚生施設の整備 ……558
生活支援施設　課外活動施設　居住施設　環境・エネルギー施設　交通環境の整備　並木・モニュメント等
第 4 章　病院地区の再開発 ……567
第 1 節　再開発の決定 ……567
(1) 病院地区施設の老朽化 ……567
病院地区施設の老朽化　ゾーニング計画の立案
(2) キャンパス移転と病院地区 ……572
(3) 病院地区の現地再開発の決定 ……576
第 2 節　「九州大学病院」の発足 ……577
(1) 病院統合の経緯 ……577
(2)「九州大学病院」の発足 ……580
(3) 新病院の建設 ……583
第Ⅰ期工事　医学部百年講堂　第Ⅱ・Ⅲ期工事　病院地区フレームワークプラン

第 15 編　「知の新世紀を拓く」
第 1 章　九州大学の課題と将来構想……591
第 1 節　高等研究院・基幹教育院の設置……591
(1) 高等研究院の設置……591
高等研究院の設置　栄誉教授・特別主幹教授　若手研究者の養成
(2) 基幹教育院の設置と教育システムの再構築……594
「ゆとり教育」への対応　GPA 制度と EEP　大学改革活性化制度　基幹教育院の設置
(3) 学術研究推進支援機構の設置……598
第 2 節　国際化拠点整備事業……600
(1) 留学生 30 万人計画……600
留学生 30 万人計画　インターナショナルカレッジ設置の検討
(2) 国際化拠点整備事業の採択……602
国際化拠点整備事業の採択　国際化拠点整備事業の実施　国際化拠点整備事業から国際教養学部構想へ
第 3 節　九州大学学術研究都市構想……608
(1) 九州大学学術研究都市推進協議会の設立……608
周辺自治体の学術研究都市構想　九大のタウン・オン・キャンパス構想　九州大学学術研究都市推進協議会の設立
(2) 九州大学学術研究都市構想……611
(3) 九州大学学術研究都市推進機構の設立と地域連携……613
九州大学学術研究都市推進機構の設立　九州大学学術研究都市推進機構の地域連携活動　福岡市産学連携交流センター
第 2 章　創立百周年記念事業……619
第 1 節　創立百周年記念事業……619
(1) 記念事業計画の策定……619

創立百周年記念事業　創立百周年記念事業計画の策定　実施体制
(2) 記念事業の実施 ……623
稲盛財団記念館　椎木講堂　九州大学基金・奨学金の創設　センター・寄附講座の設置　出版物・楽曲等　「九州大学博多駅オフィス」の開設
(3)『九州大学百年史』の編纂 ……627
編集体制の構築　『九州大学百年史』の編集と公開
第 2 節　九州大学基金の創設 ……629
(1) 記念事業募金 ……629
「九州大学百周年記念事業推進会」の設立　募金活動
(2) 九州大学基金の創設 ……633
九州大学基金の創設　九州大学基金の事業
第 3 節　創立百周年記念式典 ……637
(1) 百周年記念イベントの実施 ……637
九大百年開学式・山川健次郎初代総長胸像設置式　創立百周年記念講演会・特別講座等　展示・研究施設公開　「九州大学まなびたい」と「QU ウォーク」
(2) 創立百周年記念式典 ……641
創立百周年記念式典　九大 100 年まつり　創立百周年記念コンサート

図表一覧